



▲熱心な意見交換をしました

◆9月5日第1回「はりま女性会議」を開催しました。「女性活躍推進法」が施行され、女性のさらなる活躍が期待される時代となっています。今回は、播磨町で日々活動されている諸団体の方々にお集まりいただき、ホットな意見交換の場を持ちました。各団体で後継者不足という共通の悩みもあるようですが、お互いの活動を知り、理解する機会ともなりました。今後回を重ね、それぞれのお立場や異なる視点からいただいたご意見、ご提言を町政に活かしていきたいと思っています。

◆先日の台風20号、21号は、進路が播磨町近くを通るコースとなりました。20号は夜間の満潮時に台風が最接近するということがあって「高潮」被害が懸念され、リアルタイムで刻々と表示される潮位は、近年まれに見る高さとなりましたが、台風の通過とともに無事下降していきました。水田川や喜瀬川、漁港においても、これまでの河川改修や、事前のゲート閉鎖、水中ポンプの設置などにより、危険な状況にまで至らず済みしました。街路樹の倒木もありましたが、迅速に撤去し通行の妨げにならないよう対応しました。一部地域の道路冠水や停電も、短時間で解消したことは有難く思っています。両台風とも中央公民館を自主避難所として開設いたしましたところ、あわせて50人ほどの方が避難してこられました。今後もできるだけ早い段階で安全な所に避難をしていただくことが、大切な「命」を守ることになると思います。不安に思われる時は、お気軽に役場へお問い合わせください。台風一過の青空に「播磨町は災害のないまちでいいね」という住民の方々の会話をしみじみと拝聴いたしました。被災地の一日も早い復興をお祈りしております。

播磨町長 清水ひろ子

## ふるさと七夕まつり開催

中央公民館 ☎079(437)6980

昨年度まで別々に開催していた七夕まつりとふるさと夏まつりをひとつにした、「ふるさと七夕まつり」を播磨町中央公民館と播磨町ことぶき大学学生自治会の共催で7月1日、中央公民館で開催しました。

ロビーでは、わた菓子、ゲームなどの模擬店とパン、おにぎりなどの販売、研修室では紙しばい、折り紙、手作り雑貨の販売、ゆかたの着付け、大ホールでは今年度初めてやぐらも設置し、盆踊りを行いました。



▲やぐらのまわりで播磨音頭を踊りました

七夕の笹には願いごとを書いた短冊や、色とりどりの飾りも飾られていました。

大勢の参加者とことぶき大学生が、大変楽しみ盛り上がった一日でした。

## 夏休み防災体験教室

加古川市防災センター ☎079(423)0119

加古川市消防本部が管轄する播磨町・加古川市・稲美町の小学生を対象とした「夏休み防災体験教室」が、8月10日に加古川市防災センターで開催されました。

高所活動車の乗車体験や、消火器での初期消火体験、震度7の地震体験、火災時の屋内避難体験のほか、近年頻発している豪雨の体験も実施。猛烈な雨の強さとともに、水かさが増した状況で歩くことの困難さを体験し、子どもたちは驚きの表情を浮かべていました。



▲1時間に100ミリの豪雨を体験

たちは驚きの表情を浮かべていました。

**楽屋裏**  
今年度の郷土資料館特別展は、「今里傳兵衛と新井用水」です。干ばつに苦しむ古宮村を救った今里傳兵衛の偉業を紹介する特別展です。そこには共に行動した多くの村人がいたと思えます。暮らしやすい村を自分たちでつくるという強い思いがあったから、多くの困難を乗り越えて成功につながったのだと思います。

今の時代のまちづくりの成功事例も同じかもしれません。まちづくり講演会の案内をページに掲載しています。播磨町のこれからのまちづくりについて、考えてみませんか？ (宮)

## 播磨中学校陸上競技部 全国大会出場

企画グループ ☎079(435)0356



第45回全日本中学校陸上競技選手権大会が岡山県で開催されました。砲丸投げの種目が出場が決まった播磨中学校陸上競技部の原田優飛くんが、大会前に町長を表敬訪問しました。原田君は「自己ベストの記録を出して、入賞を目指して頑張りたい」と抱負を語ってくれました。町長は、「暑い時期なので体調に気を付けて、日頃の練習成果を思う存分発揮してください」と激励しました。

## 神戸地方気象台長が来庁されました

危機管理グループ ☎079(435)0991

近年、雨の降り方が、局地化・集中化・激甚化し、全国各地で風水害による大規模な被害が発生していることを受け、7月31日に神戸地方気象台と本町の「顔の見える関係の構築」を目的として、神戸地方気象台長の廣澤純一さんが来庁されました。町長や町職員と意見交換をし、緊急時ホットラインの構築などを行いました。



播磨町では、今後も、神戸地方気象台をはじめとした関係機関との連携を密にし、来るべき災害に備え、対策を強化してまいります。

## 平成30年度農地パトロールを実施

住民グループ ☎079(435)2364

農業委員会では、遊休農地の発生防止および解消状況などを調査するため、毎年農地パトロールを実施しています。

今年は8月28日に状況調査を行いました。9～10月も引き続き調査を行います。これからの季節は、火災の発生など周囲の環境に支障が生じる恐れがありますので、良好な管理に努めていただきますようお願いいたします。



## 喜瀬川で魚や虫の観察を行いました

すこやか環境グループ ☎079(435)2721

毎年、町立図書館とすこやか環境グループは共催で「夏休みおもしろ教室」を開催しています。今年度も3R(リデュース・リユース・リサイクル)、エネルギー、生物などをテーマに10講座を開催しました。

そのうちの1つである喜瀬川の生物を観察する体験教室が8月10日に開催され、15組の家族が参加しました。モツゴやタモロコ、ゲンゴロウブナ、スジエ



ビなどの在来生物の生息を確認できた一方で、サカマキガイなどの外来生物や特定外来生物であるブラックバスがいることもわかりました。

▲毎年、喜瀬川で観察をしています

外来生物とは、もともとその地域に生息していなかったにもかかわらず、人間の活動によって意図的・非意図的に持ち込まれた生物のことを言い、その外来生物が原因で、在来の自然環境や野生生物に深刻な悪影響を及ぼす場合があります。

1. 外来生物をむやみに他の地域に「入れない」
2. ペットとして飼育している外来生物を「捨てない」
3. 既にその場所に存在している外来生物を他の場所に、「拡げない」

これらのルールを正しく理解し、しっかり守っていくことが、日本本来の自然環境を次世代に残すことにつながるのです。

## わんぱくはりまっこ



ふじわら はると  
藤原 遥斗くん  
(本荘)

いっぱい笑って、いっぱいおしゃべりして、毎日楽しいね♡  
(お父さん・お母さんより)

※撮影時の年齢です。